

薬学英語1A (Pharmacy English 1A)					担当教員	
					教授	佐藤 毅
					非常勤講師	石井 えり奈
					非常勤講師	磯山 悟朗
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	非常勤講師	平賀 麻紀
外国語	1年次 前期	講義	1.5単位	必修		

【概要】

薬学をはじめ、生命科学系の専門家には専門的情報を発信できる力が求められ、そのために、英語は必要不可欠である。薬学英語1Aは、今後の薬学、専門英語のイントロダクションとして位置付けられている。本講義は演習中心の講義とし、これまで学習してきた化学を振り返りながら、「読む」、「聞く」、「表現する」ことを通して、専門的英語に慣れ親しみ、その基礎力を養う。

【授業の一般目標】

この講義は、化学的内容に関して、英文を正確に読み、聞き取り、さらに英語で表現する（英作文）ための基礎力の構築を目標とする。化学の基礎である物質の状態、化学反応等に関して、専門用語、それらを用いた表現を習得し、化学に関する簡単な作文ができるようになることを目指す。

[関連する卒業認定・学位授与方針] DP2

【準備学習(予習・復習)】

教科書の内容を学習し、授業の前後にしっかりと予習・復習すること。CDなどを使って、聞き取りの練習を繰り返して学習して欲しい。教科書Appendix 2に載っている英文をしっかりと覚えること。毎回の講義において確認テストを行う（詳細は初回講義において説明する。）。この予習、復習には1週当たり150分程度必要となる。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	Matter	佐藤・石井・磯山・平賀	物質の分類に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
2	Matter	佐藤・石井・磯山・平賀	ろうの組成の分析実験に関する文章を読み、実験操作等の表現を習得し、作文等において用いることができる。
3	Gas	佐藤・石井・磯山・平賀	気体に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
4	Gas	佐藤・石井・磯山・平賀	酸素を発生させる実験に関する英文を読み、実験操作等に関する表現を習得し、作文等において用いることができる。
5	Solution	佐藤・石井・磯山・平賀	溶液に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
6	Solution	佐藤・石井・磯山・平賀	塩化ナトリウムと硝酸カリウムの混合物から硝酸カリウムを単離する実験に関する文章を読み、実験操作等の表現を習得し、作文等において用いることができる。
7	Change of State	佐藤・石井・磯山・平賀	物質の三態に関する英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
8	Change of State	佐藤・石井・磯山・平賀	オレンジの皮からのリモネンの抽出実験に関する文章を読み、実験操作等の表現を習得し、作文等において用いることができる。
9	中間試験	佐藤・石井・磯山・平賀	第1回から第8回の講義で学んだ化学の内容に関して英文を理解できる、さらに英作文ができる。
10	Chemical Reaction	佐藤・石井・磯山・平賀	化学反応に関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。

11	Chemical Reaction and Energy	佐藤・石井・磯山・平賀	化学反応とエネルギーに関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
12	Atom and Element	佐藤・石井・磯山・平賀	原子と元素に関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
13	Ions	佐藤・石井・磯山・平賀	イオンに関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
14	Organic Chemistry	佐藤・石井・磯山・平賀	有機化学に関する基礎的な英文を読み、そこでの英語表現を習得し、作文等において用いることができる。
15	総括・まとめ		

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 Basic English for Chemistry	Makoto Imura, Damien Healy , Matth ew Caldwell	CENGAGE Learning

【成績評価方法・基準】

中間試験（30％）と期末試験（50％）の成績、および毎回の提出物（20％）等を評価。

【評価のフィードバック】

試験に関するフィードバックは試験終了後に、manaba上に公開する。